

家族を守る、そして私を守る。

親として、そして市民目線で話をしてみませんか。

犠牲者74名の大川小学校

犠牲者0名の釜石小学校

大川小学校

一体何が違ったのでしょうか。

14:46

・巨大地震発生。

14:52

・防災無線でサイレンと6メートルの津波警報。

・児童の避難に備えスクールバス待機。

・A教諭は山への避難を提案するが「何かあったら責任取れるのか」と言われ、強く言えなかった。

・教員間で、汚れたり転んでけが怪我をすることに対して保護者から責められるかも知れないという雰囲気があった。

・迎えに来た保護者から山に逃げるように進言されたが、取り合わなかった。

15:14

・10メートルの大津波警報を受信。

・子どもから山に逃げようとの提案。

・校庭ではたき火の準備が始まっていた。

・早い段階で「避難はしない」という決定になっていた。

15:25

・市の広報車が「松原を越えて津波、高台へ避難」をよびかけ通過。

・校庭から小高い橋の付近を目指して移動開始。

・すでに川からは水があふれていた。側溝からも水が噴き出していた。

・校庭ではたき火の準備が始まっていた。

・道は大変狭く移動途中で行き止まり。避難先を変更。

・県道に出ようとしたところ、川から波の壁が来た。

・先頭の児童があわてて引き返し山に向かった。

「石巻市立大川小学校「事故検証委員会」を検証する」
池上正樹・加藤順子（著）株式会社ポプラ社を元に作成

児童たちが追い込まれたのは、最も狭く、山の斜面も急な場所であった。

→51分かけて180メートルしか進めなかった。

15:37

・大川小学校に津波到着。

下校後の184名のこども達・・・

釜石小学校

「地震のあと、身体が自然に動いた」小4男子

「母に避難を呼びかけ続けた」小3女子

「目の悪い祖母をつれて避難した的確な判断」小4女子

「お母さんを待たずに一人で行動した」小3男子

大人顔負けの判断力を見せた釣りグループ 小6男女

NHKスペシャル取材班
(執筆者) 福田和代「釜石の奇跡」より抜粋

二度と悲劇を起こさないために、私たちにできること。
一緒に考えてみませんか。

9月16日(日)11:00～茅ヶ崎ラスカ6階大ホールにて。

お子様連れ大歓迎です！ (主催)

マザーアース茅ヶ崎

